

中小企業支援の架け橋

一般社団法人 福井県中小企業診断士協会

本特集では、保証協会を取り巻く環境が変化している中、中小企業支援という共通目的を持つ関係支援機関にスポットを当て、その活動や保証協会との連携や今後の展望についてお聞きします。

今回は、経営支援強化事業で連携しお世話になっている一般社団法人福井県中小企業診断士協会の方にお話を伺いました。



理事
北島 宏樹 さま

理事（副会長）
竹川 充 さま

会員
藤野 恵子 さま

Q. 貴協会の事業概要（活動内容）について教えてください。

福井県中小企業診断士協会には、現在、プロコンサルタント・企業内診断士を含め87名が在籍しております。診断士協会の主な活動は、新たな経営課題に対する研修や海外視察等を行い、診断士個人のスキルアップを図るとともに、公的機関等からの受託により企業に対してコンサルティングを行っています。

Q. 貴協会が今特に力を入れていることは何ですか。

コンサルティングにおいては、複数の診断士で各自得意な分野（IT、会計、マーケティング等）を活かしながら一つの企業をサポートする「チーム支援」に力を入れています。中小企業診断士は税理士・弁護士等の士業に比べて知名度が低いと感じており、知名度を向上していくためにシンポジウムを行ったり広報に力を入れています。私たちの目標としては、診断士が経営改善の窓口となって企業全体を診断し、各部門の専門家にバトンを渡せるような連携関係を作っていきたいです。

Q. 福井の企業の特徴や強み・弱みについて、貴協会の考えをお聞かせください。

福井の企業の強みとしては、製造業が多いこともあって技術力が高い企業が多いと感じます。また、眼鏡や繊維等の地場産業を中心に、地元で広く顔や名前を知られているなど、同業者同士でつながりが強いです。経営者の性格は真面目でこだわりが強く、自社の製品に自信を持っている人が多いように感じます。その自信の高さゆえか、顧客目線での商品説明が不足している場合があり、企業理念のPRを含め、もっと情報発信に力を入れるべきだと思うことがあります。

Q. コンサルティングの取組状況について教えてください。

現在は、保証協会、再生支援協議会、改善支援センター、産業支援センター、商工会議所からコンサルティングの委託を受けています。金融機関が改善計画の作成を保証協会に依頼するケースが増えているため、保証協会の経営支援強化事業に伴う依頼が多く、お世話になっております。

Q. 保証協会へのご意見やご要望をお聞かせください。

最近は積極的に企業を訪問することが多くなり、顔が見える保証協会になってきていると思います。一方で、保証制度については経営者よりも金融機関の方がよく知っている印象なので、経営者に対してもより積極的に周知を図っていくとよいのではないのでしょうか。

診断士協会としても、中小企業支援のために、保証協会と今後も密に連携していきたいと考えています。



お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

取材担当 企業支援部 南谷、高橋